3－10　大学情報セキュリティ研究講習会

本研究講習会は、情報運用管理の安全性を図るため、組織的に取り組むべき情報の運用管理政策、情報管理の点検・評価、情報およびネットワークのセキュリティ技術について、最新知識の紹介と情報交流を行うとともに、現場担当者の実務能力の維持・向上を目指したWebサイト、ネットワーク運用管理技術の実習を行うことを目的としている。研究講習会の企画・運営・実施は、情報セキュリティ研究講習会運営委員会（委員長：奥山　徹、朝日大学）を継続設置して対応した。以下に活動を報告する。

（1）　開催要項の決定と実施準備

各大学の情報セキュリティ上の課題に応えられるよう、開催要項作成の前段階で加盟校に希望する課題等のアンケートを行った。その結果、特に迷惑メール対策、ウィルス対策、情報の持ち出し規制等に関する対応が望まれたことを踏まえ、実習プログラム、座学プログラムに具体的な対応策や事例紹介等を随所に取り入れるととした。

座学プログラムでは、セキュリティ政策コース一つで展開した。昨年度の情報資産の洗い出しに引き続き、本年度はそれらのリスク分析を行うこととした。また、セキュリティ周知のための学内対応、情報漏洩事故の対応、情報セキュリティマネジメントの運用、ソフトウェアのライセンス管理等について、先進的に取り組んでいる大学より事例紹介や質疑応答を行うこととした。

実習コースでは、実践的能力を身につけるためのトラブル対応や原因追跡等の実習を中心に行うネットワーク運用管理コース、ネットワークの基礎からPCのセキュリティ設定等の基本、暗号化通信の基本について実習を行うセキュリティ基本技術コースの２コースで構成した。①ネットワーク運用管理コースでは、インシデント調査に必要なログ解析の手法、ネットワークの監視、Webアプリケーションのセキュリティ等について実習を行うとともに、迷惑メール対策の事例紹介も行うこととした。②セキュリティ基本技術コースでは、ＰＣ上でできるセキュリティ対策としてセキュリティパッチの適用やパーソナルファイアウォールの設定、ウイルス対策ソフトの導入等について賛助会員より解説するとともに、SSLやVPN等の暗号化技術について実習を通して理解することとした。

平成１９年度大学情報セキュリティ研究講習会開催要項

１．開催趣旨

大学における情報の適正管理を図るため、組織的に取り組むべき情報の運用管理政策、情報管理の点検・評価、情報およびネットワークのセキュリティ技術について、最新知識の紹介と情報交流を行うとともに、現場担当者の実務能力の維持・向上を目指したWebサイト、ネットワーク運用管理技術の実習を行います。

２．日程：平成19年8月9日(木),10日(金)

３．会場：東海大学湘南キャンパス

４．実施コース

本講習会では、参加者の興味・関心、学内での役割に応じて以下の3つのコースを実施します。

Ａ．セキュリティ政策コース

教育の情報化の進展に伴い、大学に修学指導、経営戦略、自己点検・評価、教育・研究資料等に関する貴重な情報資産が蓄積されつつあり、その有効活用が大学の教育・研究活動、経営活動の成否に大きく影響するところとなってきています。それ故に、大学資産としての情報管理の問題が今後大きな課題となっていくことに鑑み、情報の活用が安全に行われるように、教職員、学生を含む全ての構成員に対して情報取り扱いの重要性およびコンプライアンスの対応等について周知・徹底し、理解させることが喫緊の課題となってきています。そこで、本コースでは、事例を通じて大学としての情報管理対策の認識を確認するとともに、実現のための情報管理政策の策定および管理体制のあり方、コンプライアンスの対応等について研究します。

なお、セキュリティポリシーをまだ整備していない大学と、整備済みの大学など、大学の取り組み状況に応じたプログラムなどを一部行うことを予定しています。

１．大学の情報管理の現状と問題点

（１）加盟大学における情報セキュリティへの取り組み状況

（２）セキュリティポリシー周知への取り組み事例の紹介(立命館大学)

２－Ａ．情報セキュリティポリシーの策定に向けて

※セキュリティポリシーの検討過程または未整備の大学向け

講師：　藤村裕一氏(コンピュータ教育開発センター学校情報セキュリティ委員会委員長/鳴門教育大学総合学習開発講座准教授)

２－Ｂ．情報セキュリティマネジメントの運用(事例報告：　日本福祉大学)

※セキュリティポリシーの整備済みの大学向け

３．リスク分析の方法

講師：　藤村裕一氏（コンピュータ教育開発センター学校情報セキュリティ委員会委員長/鳴門教育大学総合学習開発講座准教授）

4．事例研究：個人情報流出事故への大学としての対応
（事例報告： 東京理科大学）
5．ソフトウェアの適正使用に向けて
社団法人私立大学情報教育協会事務局
事例報告： 関 西 大 学
6．パネルディスカッション 組織的な情報管理を推進するための戦略

【対象者】
学長、副学長、事務局長など学内の情報管理に関する最高責任者
情報処理センター長など情報処理部門の情報管理・情報セキュリティ管理の責任者
情報管理や情報セキュリティ管理を担当する部門の長や構成員
情報管理や情報セキュリティに関わっているすべての者

B．実習・ネットワーク基本技術コース

本コースでは、安全な情報管理を行うために欠かせない基本的なネットワークやPCの管理・運用技術を習得します。インターネットやLAN の仕組みについて、講義や、簡単な実習、デモンストレーションを通じて学ぶとともに、情報漏洩・セキュリティ対策として、ファイアウォールやウイルス対策等の設定を学習します。学内ネットワークやPC教室の運用管理の基本を理解するとともに、トラブル発生の予防措置が行えることを目標とします。

1．ネットワーク基本技術
2．Windowsのセキュリティ － 多層防御の概要
3．PC端末のセキュリティ
4．ネットワーク通信のセキュリティ

【対象者】
学内の情報部門における情報ネットワークの運用・管理の担当者
情報セキュリティに関する担当者で情報ネットワークや情報セキュリティの基本技術を身につけたいと思っている者

C．実習・ネットワーク運用管理コース

本コースでは、情報ネットワークの運用・管理担当者を対象に、サーバ、ネットワークの運用管理に関する技術やセキュリティ対策、迷惑メール対策について、実習やデモンストレーションを通じて学習します。

講習では、実際の運用面の流れに沿って、「サーバ・ネットワークのモニタリング」から、インシデント発生時の「ログ解析とインシデント調査」、そして「ネットワークアプリケーションの脆弱性対策」を取り上げます。具体的には、ツールを用いたモニタリングや実際に侵入などの被害にあった際に原因を調査するためのログの解析、学内での運用が増えているWebアプリケ

ーションの脆弱性対策や早急な対応が求められる迷惑メール対策などの実習及び事例紹介を行います。なお、実習にはWindows、LinuxおよびFreeBSDを使用しますので、受講者がこれらのシステムの基本的な操作（ファイルの編集など）を習得していると無理なく受講できます。

1．サーバ・ネットワークのモニタリング
2．ログ解析とインシデント調査（前編）
3．ログ解析とインシデント調査（後編）
4．Webアプリケーションのセキュリティ
5．迷惑メール対策の事例紹介

【対象者】

学内の情報部門における情報ネットワークの運用・管理の責任者及び担当者

情報セキュリティに関する責任者及び担当者

情報ネットワークの運用・管理や情報セキュリティに関心のある者

（２）開催結果と次年度の計画

参加者は８８大学、６短期大学、賛助会員６社の１６１名であった。開催結果の詳細は、資料偏【資料１６】を参照されたい。

セキュリティ政策コースでは、対策事例が具体的に示されたセッションでは評価が高かったが、次年度同内容で企画するには題材に乏しい。また、セキュリティ対策が進んでいると大学と不十分な大学の格差が開いている状況が見受けられる。そこで、レベルに応じたセキュリティ対策が具体的に取りかかれるよう、自己点検、自己評価のチェックリストを作成し、ポートフォリオ化して、対策を助言できるようなシステムを構築することにした。次年度はその調査・研究に活動を重点化するとともに、研究講習会としては、技術管理者が最低限知っておくべき基本的な知識として、情報流出、情報流入に伴うインシデント事後の対応、個人情報の取り扱い、著作権などの関連知識等について、実習コースの一部分として組み入れ、最低限の学習ができるよう配慮する。ＴＡやヘルプデスク、教室管理などを行う職員を対象としたプログラムを取り入れることにしている。